



— アートキャラバンみやぎ —
～ 宮城圏域ホール連携事業 ～

ユニットキャラバン事業⑧



レクチャー実演会

能楽とオペラへの招待

歌舞劇の魅力を解説と実演で、わかりやすくお伝えします



解説

し が の けい い ち
志賀野 桂一

プロデューサー／演出・脚本家、
東北文化創造研究所長、東北文化学園大学特任教授



中村 明日香【パフォーマー】



津村 禮次郎【能楽師】



早坂 知子【オペラ歌手】

2022年 **5/22** 日

開場 **13:30** / 開演 **14:00** 入場料 **無料**

会場 **奇跡の一本松ホール**
岩手県陸前高田市高田町字館の沖302-3



お問い合わせ
お申し込み

陸前高田市民文化会館
TEL 0192-22-9666
(受付時間／9:00～17:00・第3火曜日を除く)

アートキャラバンみやぎ
Webサイトはコチラ!
<https://art-ca.net>



JAPAN
LIVE YELL
project

文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核とした
アートキャラバン事業「JAPAN LIVE YELL project」

主催：公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、
宮城圏域アートキャラバン事業実行委員会
共催：岩手県陸前高田市、陸前高田市民文化会館
指定管理者：株式会社 共立メンテナンス

医療を支えるすべての方へ感謝を込めて、そして世界のすべての人々の平和を祈って、

「みなさんと一緒に、能楽とオペラの魅力を味わいましょう！」

陸前高田市は11年前の東日本大震災津波を乗り越え復興を遂げようとしています。歴史は古く多くの津波や災害に見舞われそのたびに乗り越えてきた歴史があります。「海」は住民に豊かさをもたらしてきました。

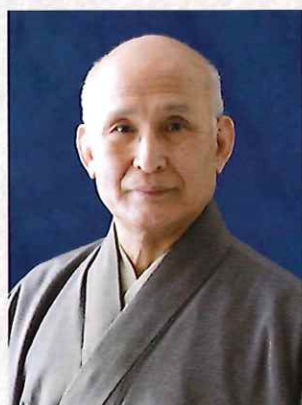
松原と海の陸前高田市は、今新しい発展を目指して動き出しています。美しい海とともに…。

そこで今年の夏に上演するのが、能/オペラ「海士AMA」

です。能楽から100年遅れで盛んとなった西欧オペラは能と共通性があります。どちらも「あまりなじみがない」「敷居の高い」、「よくわからない」と言われる能とオペラを、やさしくレクチャーし、実演を交えて学び、楽しんでしまおうという贅沢な企画です。

是非この機会に参加してほしいと思います。何か新しい自分を発見できるかもしれません。

プロフィール Profile



能楽師・観世流シテ方
重要無形文化財(能楽総合)指定保持者
津村 禮次郎

(公社)能楽協会会員。一橋大学大学院講師、二松学舎大学特任教授を勤める。大学在学中に女流能の草分け津村紀三子の指導を受け、その後先代観世喜之に師事する。定例公演、小金井薪能を企画開催44回を迎える。



多面体表現者(パフォーマー)
中村 明日香

芝居や歌などの「声」と、洋舞から日舞、フラメンコ、即興、コンテンポラリー、能など、様々な「舞」のテイストを織り混ぜ、独自の表現で空間を紡ぎ生み出す表現者。

自ら演じる表現活動に加え、様々な媒体の振付家としても活躍中。



声楽家
早坂 知子

仙台市出身。国立音楽大学音楽学部演奏学科声楽専修歌曲ソリストコース卒業。米国エンボリア州立大学にて修士号を取得。

ドラマティック・ソプラノとしてワーグナー作品を中心に米国にてオペラ、楽劇に出演。



ピアニスト
高橋 麻子

ベルリン芸術大学、モーツァルテウム大学修士課程を最優秀で修了。現在、宮城学院女子大学音楽科、尚綱学院大学非常勤講師。野沢真弓、浅野繁、林秀光、ハンス・ライグラフ各氏に師事。平成20年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。



ピアニスト
高塚 美奈子

宮城学院女子大学音楽科卒業、研究科修了。Trp.アンサンブルThe Mostや東日本大震災復興「かたりつぎ」にて竹下景子と共演を重ねる。現在、宮城学院女子大学教育学部ほか非常勤講師、東北青少年音楽コンクール審査理事。



モデル・ナレーター・MC
いいだりか

テレビのレポーターや講演会、パーティーの司会、また、「スペースオペラKEGON」、「多賀光の多面体」、「白河ジャパネスク恋歌舞SO-MON」等、舞台でのナレーターも務める。

